

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公開番号】特開2015-21898(P2015-21898A)

【公開日】平成27年2月2日(2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-007

【出願番号】特願2013-151933(P2013-151933)

【国際特許分類】

**G 01 T 1/20 (2006.01)**

【F I】

G 01 T	1/20	L
G 01 T	1/20	E
G 01 T	1/20	G
G 01 T	1/20	D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月28日(2016.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0065】**

ここで、紫外線硬化型の接着剤が、ラジカル重合型である場合には、その硬化現象に停止反応があるため、紫外線が照射された部分のみが硬化することになる。これに対して、紫外線硬化型の接着剤が、カチオン重合型の場合には、硬化現象の停止反応が無いため、紫外線が照射された部分の架橋硬化反応が周辺部にも伝搬して、硬化反応が行きわたる。すなわち、制御ライン2c1やデータライン2c2などの影になる部分の硬化反応も生じさせることができる。そのため、封止品質のより高い側面防湿層8を形成することができる。

カチオン重合型の紫外線硬化型のエポキシ系の接着剤としては、例えば、ナガセケムテックス(株) XNR-5516ZHV-B1などを例示することができる。